

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こすもす園（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 6日	～	2025年 10月 4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年 9月 8日	～	2025年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年10月 1日	～	2025年10月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っている。	・訪問を開始する前に、訪問先施設にて管理職との面談を行い、説明を行っている。	・就学時や学年が上がる時に、改めて事業の趣旨や訪問支援の目的等について説明する機会を設け、継続して訪問が充実するように努めていく。
2	・訪問先施設での子どもの様子や課題を保護者様と訪問先施設にできるだけ早く共有するようにしている。	・子どもの様子、配慮していること、課題についてを丁寧に記録し、その日の内に保護者様へ共有している。 ・訪問先施設にはできるだけ早く報告書を提出するようにしている。 ・可能な場合は、訪問後に管理職、担任の先生とカンファレンスを行い、子どもの今後の支援の進め方を共有している。	・訪問時の様子を記録として保護者様へ共有しているが、家庭訪問や面談を行うなど、頻度を増やして保護者様へ口頭での説明ができるようにしていきたい。 ・訪問先施設、保護者、相談支援事業所の相談員とのサービス担当者会議を行い、よりよい支援を行っていけるようにしたい。

3	<ul style="list-style-type: none"> 訪問支援員と放課後等デイサービスの職員が情報を共有して子どもにとって必要なスキルを見つけ連携して支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問先施設での課題を軽減できるように、放課後等デイサービスを利用する時にも課題に対して支援を行い、一貫した支援をすることで課題解決に向けて努力している。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問先施設での行動観察を大切にし、子どもにとって必要な合理的配慮を見つけ、共有しながらよりよい支援を行っていく。
---	---	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 日程の調整が難しく、希望の日に行けないこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問支援員が訪問に行ける曜日が固定されていたり、訪問時間も制限がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に書面にて訪問のできる日を提示し、多くの選択肢の中から訪問日を決めて頂くようにする。
2	<ul style="list-style-type: none"> 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受ける機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期に1回、大学院の教授に出席頂きケース会議を設けている。その際に的確な助言を受け、支援に活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 質の向上を図るために、ケース会議の他にも研修を受講するなど努力していきたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援のサービスを行っていないため、保育所等訪問支援のみの利用者へは訪問先の間接支援（月2回程度）だけになってしまふ。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様との面談ができるだけ設け、家庭での様子や訪問先での様子を聞き取り、訪問の時に担任の先生と連携が取れるように準備している。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の機関にもお願いして連携会議を設けるなど多角的視点から支援できるようにしていく。